

㊤ 健康増進事業費について、食糧支援の実績と今後の見込みは。

㊤ 事業開始から本年度5月末までに食糧支援は311世帯502人分、パルスオキシメーターの貸出しは56世帯に行った。うち、本年度分は食糧支援82世帯133人分、メーターの貸出しは16世帯である。今後の見込みは、事業を再開した1月中旬から4月末までの実績、食糧支援409人、メーター40世帯を基に、食糧支援は月100セット、メーターは月15世帯分の返送費用を見込み、7月から9月分の3カ月分を予算計上した。



自宅療養食料支援品

㊤ 菊川流域治水対策事業において、治水対策の具体的な構想内容と委託先の業者は。また、実施までのスケジュールは。

㊤ 今回の黒沢川・棚草川流域治水対策検討業務は、平成10年9月の秋雨前線停滞及び令和元年10月の台風19号の豪雨と同程度の雨が降った際に、黒沢川・棚草川流域のどこに、どの程度の規模の貯留施設を整備することが効果的であるかを検証し、治水対策の目標規模及び治水対策案の選定を目的として委託する。

委託先は、指名委員会でのコンサルタント会社の選定を予定している。実施までのスケジュールは、業務委託を7月に契約し作業に入る。作業後、治水対策の目標規模及び治水対策案に基づき事業費を算出し、早期の事業着手に向けスケジュールを計画していく。

審査 ピックアップ 議案 第33号

菊川市一般会計補正予算（第4号）

国のコロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」交付金を活用し、物価の高騰などにより影響を受ける市民、子育て世帯や事業者に広く支援するための補正予算第4号です。その内容や理由を確認し、審査しました。

㊤ 前回の水道料金軽減事業では軽減に気づかない市民がたくさんいたと聞いたが、市民へ分かりやすい周知が必要不可欠ではないかと思うが、今回の周知方法は。

㊤ 前は、広報等に周知を掲載できなかった。今回は、検針票のお知らせ欄に減免の案内をするとともに、広報菊川8月号に掲載し、ホームページや茶こちゃんメール等も活用し市民に周知をしていく。

㊤ プレミアム商品券のプレミアム率を60%から100%に変更した根拠と商品券利用開始までのスケジュールは。また、購入見込世帯増の根拠は。

㊤ 物価高騰の影響を考慮し、各メーカーから発表されている値上げ率が10%から20%、ガソリンは約30%などの状況を踏まえ、利用可能額を25%拡大することでプレミアム率を100%と設定した。スケジュールは、商品券印刷や事業者の募集などに時間が必要であるため、10月頃から商品券を販売し1月末までを利用期間とする予定である。また、昨年度のプレミアム商品券事業で利用しなかった理由の中に「もっとお得なら買う」などの意見があり、今回のプレミアム率が拡大によりお得と感じ購入者が増加することを想定し購入見込率を増やした。